

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果報告

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	智頭町総合戦略策定事業	基礎交付	2,113,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤										
2	定住促進住宅支援事業	基礎交付	13,943,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	移住相談者数	20	世帯	H28.3	19	地方創生に相当 程度効果があつ た	総合戦略の KPI達成に有 効であった	定住に繋がったかどうかの検 証は今後必要。智頭産材利 用などの副産物も成果として いいのではないかと。	事業の継続	応募者が多く、平等に利用してもら うため、制度設計自体は現状維持 を想定しているが、PR等について は周知期間を長く設定するなどの 見直しが必要。定住及び住環境整 備に繋がる対象者へ交付されるよ う精査する。
3	智頭町産材住宅建設支援事業	基礎交付	2,500,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	智頭産材を使った住宅建 築	10	軒	H28.3	5	地方創生に効果 があつた	総合戦略の KPI達成に有 効であった	例年の新築件数に対する比較が必要。 5軒が多いか少ないか。町内 だけではなく町外、県外へ打って出る 必要性を感じる。木材流通促進を図 るため、既存のスキームを破る思い 切りを。既存の智頭材を使ったおた めし住宅などをモデルハウスのに展 示し、あるものを有効活用すべき。	追加等更に発 展させる	智頭産材の需要拡大を目指すた め、リフォーム助成と合わせた 制度設計、モデル住宅建築 によるPRを図り、木材消費を向 上させる取り組みへと発展させ ていく。
4	誘客支援委託事業	基礎交付	2,000,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	観光客増	1,000	人	H28.3	0	地方創生に効果 がなかった	総合戦略の KPI達成に有 効とは言えな い	ツアー参加者が0人なのはよ くない。町長のネームバ リューをもっと活かしたり、百 人委員会が出てきた安価なア イデアを絡めた誘客など、や り方はたくさんあるはず。	事業内容の見 直し(改善)	ふるさと納税サイト「ふるさと チョイス」を新たなプラットフ ォームとして取り入れ、合せてタ ーゲットの詳細化を図る。コアな 智頭町ファンを取込む仕組みに していく。
5	森林セラピー事業	基礎交付	9,840,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	企業向けメンタルヘルスプ ログラム実践企業	1	企業	H28.3	5	地方創生に非常 に効果的であつ た	総合戦略の KPI達成に有 効であった	アプリのPR方法として、アプリ名 を「従業員ストレスチェック」ツ ールとして検索できるよう工夫し ては、セラピーの医学データがあ ればさらに推進できるし、すべ きた。都市部企業だけではなく、公 的機関にもモニタリングしてはど うか。	追加等更に発 展させる	中期、長期滞在ができる受入体 制をソフト、ハード両面で整備 し、企業向けメンタルヘルスプ ログラムが新たな産業として智 頭町に確立されるよう、事業拡 大を図る。
6	薪ストーブ等導入事業	基礎交付	2,925,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	薪ストーブ導入世帯 間伐材利用増	15 300	世帯 m3	H28.3 H28.3	10 209	地方創生に相当 程度効果があつ た	総合戦略の KPI達成に有 効であった	個人向け以外にも、展開を想 定してはどうか。1軒がどれく らい木材を消費するかを明確 に捉えれば、木材搬出目標に 対する設置件数が算定でき る。智頭農林高校などでデー タ収集をしては。	事業の継続	29年度までの継続を目標とし、 その後の木材需要向上を図る 新たな制度設計を行う必要もあ る。また、取り扱い点に対して 広く制度PRを図る。
7	林業新規就業支援事業	基礎交付	900,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	新規林業就業者	5	人	H28.3	2	地方創生に効果 があつた	総合戦略の KPI達成に有 効であった	智頭農林高等学校と事業連携が できないか。アルバイトとして林 業体験ができる仕組みなど。自 伐林業が生業として成り立つ のは非常にハードルが高いが、若 者には後継者として頑張ってもら いたい。労務災害などの社会保 障も検討すべき。	追加等更に発 展させる	間伐フィールド発掘を図る山林バ ンク等新制度を導入し、自伐林業 が産業として発展するよう事業 拡大を図る。知識、技術を習得 する場としての既存団体の活動 も大きくバックアップしていく。
8	遊！楽！住！県境を越えた日本一の 海幸・山幸回廊づくり(鳥取県因幡地 域・兵庫県北但西部地域連携事業)	タイプⅠ	3,899,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	観光入込客数 圏域への移住定住者数	185,000 560	人／年 人／年	H28.3 H28.3						

38,120,000

各事業の評価等を踏まえた地方版総合戦略の見直しの有無	見直しを行わない
----------------------------	----------

地方版総合戦略を見直した場合はその内容。見直しを行わないこととした場合はその理由

現行事業の2年目、3年目の成果をみつつ、見直しのタイミングを図っていく予定。